宮城県版

保幼小接続期カリキュラムの実践に向けて ⑤







1 保幼小接続期カリキュラムとは



4 アプローチカリキュラム実践の流れ

5 スタートカリキュラム実践の流れ

6 振り返り

幼児網に主体的な遊びを通して身に付けた力が、季重期においてどのようにつながり。子どもの成 長に作用していくのかを理解した上で、保育所、物理器、関定こども医等と小学校のいずれにおいて も保修い接続組カリキュラムを作成することが求められています

そこで、保育所、物程屋、預定こども国等と小学校において、子どもの発達と学びの連続性及び一 責性を考慮し、保育と教育の円滑な技術を図るため、「宮城県版 保物小技術図カリキュラムの実践に 向けて」を作成しました。

それぞれの実情に合わせて技能順カリキュラムを作成。まだは実践する際の参考として、本書をご 着用ください。

平成31年3月

宮城県教育委員会





保幼小接続期カリキュラムの 実践に向けて

1 保幼小接続期カリキュラムとは 1 P 。
2 宮城県内の取組 3P 。
3 幼児期から学育期への学びのイメージ 4 P 。



4 アプローチカリギュラム実践の流れ

5 スタートカリキュラム実践の流れ

⊕P 🔩

6 振り返り

7P •

物児側に主体的な遊びを通して身に付けだ力が、 写直網においてどのようにつながり。子どもの成 長に作用していくのかを理解した上で、保育所、物理器、関定こども監修と小学校のいずれにおいて も保物小規模類カリキュラムを作成することが求められています

そこで、保育所、幼稚園、物定こども画等と小学校において、子どもの発達と学びの連続性及び一貫性を考慮し、保育と教育の円滑な独情を図るだめ、「宮前県版 保幼小接続関カリキュラムの実践に向けて」を作成しました。

それぞれの実情に合わせて鉄橋関カリキュラムを作成。または実践する際の参考として、本書をご 活用ください。

平成31年3月

宮城県教育委員会

6 振り返り





Plan	計画案にねらいが明確に記されている。	
	計画した活動が小学校生活にどのようにつながっていく のかイメージしている。	
Do	取組のねらいに応じて環境を構成した。	
Do	打合せ等で計画のねらいを全職員に周知した。	
Check	事後の振り返りを行い、成果や課題をまとめた。	
	活動計画書やカリキュラムのファイルを作成し、実践例を 蓄積している。	
Action	課題に対する対応策について検討した。	
	次年度(次回)に向け、小学校教諭との合同会議を開催し た。	



〈アプローチカリキュラム編〉

お昼の準備をしよう

○みんなで楽しく昼食時間を過ごすため、椅子やテーブルの準備、飲み物の配膳の仕方を 知り、自ら行おうとする。

子供の活動	保育士・教師の援助
1 時間を意識しながら、準備をしたり食	・準備(20分),食事(25分),片付け(1
事をしたりすることを知る。	0分)など、一連の流れやおおよその時間
	を意識して準備をしたり食事をしたりする
	ことを伝える。
	・状況に応じて、時間が前後してもよいこ
	とを伝える。
2 椅子やテーブルの準備,飲み物の配膳	・椅子やテーブルの準備は、みんなで協力
の仕方を知る。	して行うことを伝え、保育士・教師が実際
	に子供と共にやってみせる。
	・飲み物の配膳は、当番の子供が行い、当番



Plan	計画案にねらいが明確に記されている。	✓
Fiaii	計画した活動が小学校生活にどのようにつながっていく のかイメージしている。	
Do	取組のねらいに応じて環境を構成した。	
Do	打合せ等で計画のねらいを全職員に周知した。	
Check	事後の振り返りを行い,成果や課題をまとめた。	
	活動計画書やカリキュラムのファイルを作成し、実践例を蓄積している。	
Action	課題に対する対応策について検討した。	
	次年度(次回)に向け、小学校教諭との合同会議を開催した。	





Plan	計画案にねらいが明確に記されている。	
i iaii	計画した活動が小学校生活にどのようにつながっていく のかイメージしている。	
Do	取組のねらいに応じて環境を構成した。	
Do	打合せ等で計画のねらいを全職員に周知した。	
Check	事後の振り返りを行い、成果や課題をまとめた。	
	活動計画書やカリキュラムのファイルを作成し、実践例を 蓄積している。	
Action	課題に対する対応策について検討した。	
	次年度(次回)に向け、小学校教諭との合同会議を開催し た。	



〈アプローチカリキュラム編〉

/口去 1

おとりま ひ ヤベロト

お昼の準備をしよう

○みんなで楽しく昼食時間を過ごすため、椅子やテーブルの準備、飲み物の配膳の仕方を 知り、自ら行おうとする。

子供の活動	保育士・教師の援助
1 時間を意識しながら、準備をしたり食	・準備(20分),食事(25分),片付け(1
事をしたりすることを知る。	0分)など,一連の流れやおおよその時間
	を意識して準備をしたり食事をしたりする
	ことを伝える。
	・状況に応じて、時間が前後してもよいこ
	とを伝える。
2 椅子やテーブルの準備,飲み物の配膳	・椅子やテーブルの準備は、みんなで協力
の仕方を知る。	して行うことを伝え、保育士・教師が実際
	に子供と共にやってみせる。
	・飲み物の配膳は、当番の子供が行い、当番



Plan	計画案にねらいが明確に記されている。	
Гіап	計画した活動が小学校生活にどのようにつながっていく のかイメージしている。	✓
Do	取組のねらいに応じて環境を構成した。	
Do	打合せ等で計画のねらいを全職員に周知した。	
Check	事後の振り返りを行い、成果や課題をまとめた。	
Offeck	活動計画書やカリキュラムのファイルを作成し、実践例を蓄積している。	
Action	課題に対する対応策について検討した。	
	次年度(次回)に向け、小学校教諭との合同会議を開催し た。	

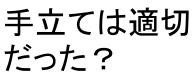




Plan	計画案にねらいが明確に記されている。	
	幼児期の経験を踏まえた計画となっている。	
Do	活動のまとめで子ども自身の変容や気付きを共有した。	
Do	打合せ等で計画のねらいを全職員に周知した。	
Check	事後の振り返りを行い,成果や課題をまとめた。	
CHECK	活動計画書やカリキュラムのファイルを作成し、実践例を蓄積している。	
Action	課題に対する対応策について検討した。	
Action	次年度(次回)に向け、保育士や幼稚園教諭、保育教諭と の合同会議を開催した。	



〈スタートカリキュラム編〉



今日の「交通教室」の 活動のねらいはどう だった?

OOは、 よかったよね。



△△は、 見直しが 必要だね。





Plan	計画案にねらいが明確に記されている。	
i iaii	幼児期の経験を踏まえた計画となっている。	
Do	活動のまとめで子ども自身の変容や気付きを共有した。	
Do	打合せ等で計画のねらいを全職員に周知した。	
Check	事後の振り返りを行い,成果や課題をまとめた。	1
Check	活動計画書やカリキュラムのファイルを作成し, 実践例を 蓄積している。	
Action	課題に対する対応策について検討した。	
	次年度(次回)に向け、保育士や幼稚園教諭、保育教諭と の合同会議を開催した。	





Plan	計画案にねらいが明確に記されている。	
	幼児期の経験を踏まえた計画となっている。	
Do	活動のまとめで子ども自身の変容や気付きを共有した。	
Do	打合せ等で計画のねらいを全職員に周知した。	
Check	事後の振り返りを行い,成果や課題をまとめた。	
Crieck	活動計画書やカリキュラムのファイルを作成し,実践例を 蓄積している。	
Action	課題に対する対応策について検討した。	
	次年度(次回)に向け、保育士や幼稚園教諭、保育教諭と の合同会議を開催した。	



〈スタートカリキュラム編〉

交通教室

日時:4月20日(火)3・4校時

場所:校庭、通学路

ねらい 安全に登下校するため、実際の道路 や模擬道路での実地訓練を通して、交通 ルールを理解し、実践することができる。









※写真等の記録を残しておくのもよいでしょう。





Plan	計画案にねらいが明確に記されている。	
i iaii	幼児期の経験を踏まえた計画となっている。	
Do	活動のまとめで子ども自身の変容や気付きを共有した。	
Do	打合せ等で計画のねらいを全職員に周知した。	
Check	事後の振り返りを行い,成果や課題をまとめた。	
Crieck	活動計画書やカリキュラムのファイルを作成し, 実践例を 蓄積している。	✓
Action	課題に対する対応策について検討した。	
	次年度(次回)に向け、保育士や幼稚園教諭、保育教諭と の合同会議を開催した。	





この様式は、 HPから ダウンロード できます。

6 **(((1))**

保育士。幼稚園教諭、保育教諭、小学校教諭が保幼小接続期 カリキュラムの取組状況を点検する際にご活用ください。

〈アプロ―チカリキュラム〉編

1

Plan	計画家にねらいが明確に記されている。	
rean	計画した活動が小学校生活にどのようにつながっていくのかイメージしている。	
Do	取組のねらいに応じて環境を構成した。	
00	打合せ等で計画のねらいを全職員に周知した。	
Check	事後の振り返りを行い、成果や課題をまとめた。	
Gheck	活動計画書やカリキュラムのファイルを作成し、実践例を蓄積している。	
Action	緊題に対する対応策について検討した。	
	次年度(次回)に向け、小学校教諭との合同会議を開催した。	

〈スタートカリキュラム〉編

0

	Plan	計画来にねらいが明確に記されている。	
		幼児類の経験を踏まえた計画となっている。	
	oO	活動のまとめで子ども自身の変容や気付きを共有した。	
		打合せ等で計画のねらいを全徴員に周知した。	
	Check	事後の振り返りを行い、成果や課題をまとめた。	
		活動計画書やカリキュラムのファイルを作成し、実践例を蓄積している。	
	Action	課題に対する対応策について検討した。	
		次年度(次回)に向け、保育士や幼稚園稚館、保育教館との合同会議を開催した。	

※この様式はHPから 9つ30-ドラできます。

保幼小接続期カリキュラムの事例等については、宮城県 HP「学ぶ土台づくり」の 「宮城県版 保幼小接続期カリキュラムの実践に向けて〈資料編〉」をご覧ください。

発行・編集【宮城県教育庁教育企園室】 平成31年3月発行

〒980-8423 宮城県仙台市南第区本町三丁目 8番 1 号 TEL 022-211-3616 FAX 022-211-3699

FAX 022-211-3616 FAX 022-211-361

E-mail kyoikupp@pref.mlyagi.lg.jp

URL http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyou-kikaku/









4 アプローチカリキュラム実験の流れ	5P •	
		i

5 スタートカリキュラム実践の流れ

8P

6 振り返り

7P

如児頭に主体的な遊びを通して事に付けた力が、 学事順においてどのようにつながり。子どもの成 長に作用していくのかを理解した上で、保育所、物理画、 関連こども顕等と小学校のいずれにおいて も保幼り独領部カリキュラムを作成することが求められています

そこで、保育所、幼稚園、関定こども服等とい学校において、子どもの発達と学びの連続性及び一 質性を考慮し、保育と教育の円滑な教育を匿るだめ、「宮前県版 保幼小狩倉関カリキュラムの実践に 向けて」を作成しました。

それぞれの実情に合わせて接続期カリキュラムを作成。まだは実践する際の参考として、本書をご 活用ください。

平成31年3月

宮城県教育委員会

「宮城県版 保幼小接続期カリキュラムの実践に向けて〈リーフレット〉」 「宮城県版 保幼小接続期カリキュラムの実践に向けて〈資料編〉」 は、宮城県HPからずウンロードできます。

